

「個別の指導計画の作成例」について

日高教育局では、平成19年度に、管内特別支援教育体制推進事業の一つとして、各学校等における「個別の教育支援計画」の策定の促進を図ることを目的に、「個別の教育支援計画の作成例」を作成しました。

この「個別の指導計画の作成例」は、発達障害を含めた障害のある全ての子どもニーズに応じた特別支援教育の充実を目指し、作成しました。特別支援学級だけでなく、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な子どもの指導計画作成にも役立てていただきたいと思います。

あくまでも参考として示すものなので、各町や各学校、子どもの実態に応じて様式や記載方法を適切に定め作成してください。

個別の指導計画作成のポイント

子ども一人一人の教育的ニーズに対応した適切な指導及び必要な支援を行うためには、実態把握に基づいて、具体的にどのような指導を行っていくのかを個別の指導計画に示し、計画的に指導することが大切です。

ポイント 情報の収集

対象となる子どもの学習面や行動面において、得意とすることや、つまずき、困難な事柄の状況、その背景となることなどに関する情報を行動観察や心理検査等で把握します。

ポイント 目標の設定

実態把握に基づいて、一人一人のよさや保護者のニーズなどを考慮して、長期と短期の目標を設定します。
 ・長期目標 約1年間 ・短期目標 学期ごと 等
 目標を設定するための視点
 子どもの将来の生活を見通して今何が必要か(必要性)
 今指導することが適切か(適時性)
 一定期間の指導によって目標が達成できる可能性があるか(達成可能性)

ポイント 手立ての設定

手立てとして、具体的な指導内容を設定します。各教科等の目標と内容に関連付けながら、一人一人の実態や目標に基づき、学校生活全体を通して指導すべき内容を精選して設定します。

「個別の教育支援計画」と合わせて「個別の指導計画」を作成することで、より子ども一人一人の教育的ニーズに対応した、適切な指導及び必要な支援を行うことが可能となります。

発達障害を含めた障害のある全ての子どもたちのために、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の両方を作成することが大切です。

年間指導計画の作成例について

特別支援教育課程を編制する場合は、「個別の指導計画」に基づき、「年間指導計画」を作成することが大切です。「年間指導計画の作成例1、2」を参考に、学校や子どもの実態に応じて、様式や記載方法を適切に定め、作成してください。

個別の指導計画作成例、個別の教育支援計画作成例は、日高教育局ホームページからダウンロードできますので、御活用ください。 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hdk/>